

## 教 員 名 簿

学 長 の 氏 名 等						
調書 番号	役職名	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額基本給 (千円)	現 職 (就任年月)
-	学長	ミムラ ノブオ 三村 信男 <平成26年9月>		工学博士		茨城大学学長 (平成26. 9. 1)

（注） 高等専門学校にあっては校長について記入すること。

教 員 の 氏 名 等												
教育学研究科 教育実践高度化専攻												
調査 番号	専任等 区分	職位	フリガナ 氏名 <就任(予定)年月>	年齢	保有 学位等	月額 基本給 (千円)	担当授業科目の名称	配当 年次	担当 単位数	年間 開講数	現 職 (就任年月)	申請に係る大学等 の職務に従事する 週当たり平均日数
1	専	教授 (研究科長)	オゴセ トオル 生越 達 <平成28年4月>		教育学 修士※		子ども理解にもとづく学習 指導 人間形成の現代的課題と学 習指導 子ども理解と学習支援 教育方法開発課題研究Ⅰ 教育方法開発課題研究Ⅱ 教育方法開発課題研究Ⅲ 教育方法開発課題研究Ⅳ 課題発見実習 教育方法開発実習Ⅰ 教育方法開発実習Ⅱ	1前 1前 1後 1前 1後 2前 2後 1前 1後 2通	2 2 2 1 1 1 1 2 3 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城大学 教育 学部 教授 (平4.4)	5日
2	専	教授	ミワ シュウジ 三輪 壽二 <平成28年4月>		教育学 修士		教育相談の課題と支援 学校不応問題への理解と 対応 子ども理解と学習支援 児童生徒支援課題研究Ⅰ 児童生徒支援課題研究Ⅱ 児童生徒支援課題研究Ⅲ 児童生徒支援課題研究Ⅳ 課題発見実習 児童生徒支援実習 学校適応アセスメント実習 学校適応支援実習	1後 1後 1後 1前 1後 2前 2後 1前 1後 2前 2後	2 2 2 1 1 1 1 2 3 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城大学 教育 学部 教授 (平12.12)	4日
3	専	教授	ワタナベ レイジロウ 渡部 玲二郎 <平成28年4月>		博士 (心理 学)		学級経営実践演習 子ども理解と学習支援 学級集団づくりとソーシャ ルスキル教育の実践法 児童生徒支援課題研究Ⅰ 児童生徒支援課題研究Ⅱ 児童生徒支援課題研究Ⅲ 児童生徒支援課題研究Ⅳ 課題発見実習 児童生徒支援実習 学校適応アセスメント実習 学校適応支援実習	1前 1後 1前 1前 1後 2前 2後 1前 1後 2前 2後	2 2 2 1 1 1 1 2 3 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城大学 教育 学部 教授 (平7.1)	5日
4	専	准教授	カトウ タカヒデ 加藤 崇英 <平成28年4月>		修士 (教育 学) ※		学校マネジメント実践演習 校内研修の企画・立案と実 践 スクール・リーダーシップ とその実践 学校における評価マネジメ ント実践演習 学校運営課題研究Ⅰ 学校運営課題研究Ⅱ 学校運営課題研究Ⅲ 学校運営課題研究Ⅳ 課題発見実習 学校運営開発実習Ⅰ 学校運営開発実習Ⅱ	1後 1後 1前 1後 1後 1前 1後 2前 2後 1前 1後 2通	2 2 2 2 1 1 1 1 2 3 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城大学 教育 学部 准教授 (平21.4)	5日
5	専	准教授	スギモト ノリコ 杉本 憲子 <平成28年4月>		修士 (教育 学) ※		授業研究の方法と実践 授業研究による授業改善 教育評価の方法 子ども理解と学習支援 教育方法開発課題研究Ⅰ 教育方法開発課題研究Ⅱ 教育方法開発課題研究Ⅲ 教育方法開発課題研究Ⅳ 課題発見実習 教育方法開発実習Ⅰ 教育方法開発実習Ⅱ	1前 1後 1前 1後 1前 1後 2前 2後 1前 1後 2通	2 2 2 2 1 1 1 1 2 3 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城大学 教育 学部 准教授 (平13.10)	5日

6	専	准教授	アオヤギ ミチコ 青柳 路子 <平成28年4月>	修士 (教育学) ※	教育臨床問題と道徳 教材研究と授業設計Ⅱ 子ども理解と学習支援 教育方法開発課題研究Ⅰ 教育方法開発課題研究Ⅱ 教育方法開発課題研究Ⅲ 教育方法開発課題研究Ⅳ 課題発見実習 教育方法開発実習Ⅰ 教育方法開発実習Ⅱ	1後 1後 1後 1前 1後 2前 2後 1前 1後 2通	2 2 2 1 1 1 1 2 3 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城大学 教育 学部 准教授 (平26.10)	5日
7	専	准教授	テルヤ ショウタ 照屋 翔大 <平成28年4月>	修士 (教育学) ※	校内研修の企画・立案と実践 教育政策の実施と評価 教育行財政と法規 学校を基盤としたカリキュ ラム開発と実践 学校危機管理論と実践演習 学校運営課題研究Ⅰ 学校運営課題研究Ⅱ 学校運営課題研究Ⅲ 学校運営課題研究Ⅳ 課題発見実習 学校運営開発実習Ⅰ 学校運営開発実習Ⅱ	1後 1前 1後 1前 1後 1後 1前 1後 2前 2後 1前 1後 2通	2 2 2 2 2 1 1 1 1 2 3 5	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	愛知東邦大学 人間学部人間健 康学科 助教 (平22.9)	5日
8	専他	准教授	マルヤマ ヒロト 丸山 広人 <平成28年4月>	博士 (教育学)	教育カウンセリング実践と 事例研究 学級経営と個別指導の実践 子ども理解と学習支援 児童生徒支援課題研究Ⅰ 児童生徒支援課題研究Ⅱ 児童生徒支援課題研究Ⅲ 児童生徒支援課題研究Ⅳ 課題発見実習 児童生徒支援実習 学校適応アセスメント実習 学校適応支援実習	1後 1前 1後 1前 1後 2前 2後 1前 1後 2前 2後	2 2 2 1 1 1 1 2 3 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城大学 教育 学部 准教授 (平17.7)	4日
9	実専	教授	サカバ カツミ 坂場 克身 <平成28年4月>	理学士	校内研修の企画・立案と実 践 学校運営課題研究Ⅰ 学校運営課題研究Ⅱ 学校運営課題研究Ⅲ 課題発見実習 学校運営開発実習Ⅰ 学校運営開発実習Ⅱ 教育方法開発実習Ⅰ 教育方法開発実習Ⅱ 児童生徒支援実習 学校適応アセスメント実習 学校適応支援実習	1後 1前 1後 2前 1前 1後 2通 1後 2通 1後 2前 2後	2 1 1 1 2 3 5 3 5 3 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城県水戸市立 五軒小学校 校 長 (平26.4)	5日
10	実専	教授	フジタ タツンド 藤田 達人 <平成28年4月>	修士 (教育学)	校内研修の企画・立案と実 践 学校運営課題研究Ⅰ 学校運営課題研究Ⅱ 学校運営課題研究Ⅲ 課題発見実習 学校運営開発実習Ⅰ 学校運営開発実習Ⅱ 教育方法開発実習Ⅰ 教育方法開発実習Ⅱ 児童生徒支援実習 学校適応アセスメント実習 学校適応支援実習	1後 1前 1後 2前 1前 1後 2通 1後 2通 1後 2前 2後	2 1 1 1 2 3 5 3 5 3 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城県東茨城郡 大洗町立南中学 校 校長 (平24.4)	5日

①	実専	准教授	ウチコシ マサキ 打越 正貴 <平成28年4月>	修士 (教育学)	子ども理解にもとづく学習指導 特別支援教育の理論と実践 校内研修の企画・立案と実践 教育臨床問題と道徳 子ども理解と学習支援 授業研究による授業改善 教育方法開発課題研究Ⅰ 教育方法開発課題研究Ⅱ 教育方法開発課題研究Ⅲ 教育方法開発課題研究Ⅳ 子どもの発達と学習の過程 課題発見実習 学校運営開発実習Ⅰ 学校運営開発実習Ⅱ 教育方法開発実習Ⅰ 教育方法開発実習Ⅱ 児童生徒支援実習 学校適応アセスメント実習 学校適応支援実習	1前 1前 1後 1後 1後 1前 1後 2前 2後 1前 1前 1後 2通 1後 2通 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 1 1 1 1 2 2 3 5 3 5 3 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城県鹿嶋市立 平井中学校 校長 (平25.4)	5日
12	実専	准教授	フジイ トシコ 藤井 とし子 <平成28年4月>	学士 (教育学)	教育相談の課題と支援 学級経営実践演習 校内研修の企画・立案と実践 子ども理解と学習支援 学校不適応問題への理解と対応 学級経営と個別指導の実践 学級集団づくりとソーシャルスキル教育の実践法 児童生徒支援課題研究Ⅰ 児童生徒支援課題研究Ⅱ 児童生徒支援課題研究Ⅲ 児童生徒支援課題研究Ⅳ 課題発見実習 児童生徒支援実習 学校適応アセスメント実習 学校適応支援実習	1後 1前 1後 1後 1後 1前 1前 1前 1後 2前 2後 1前 1後 2前 2後	2 2 2 2 2 2 2 1 1 1 1 2 3 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城大学教育学部 附属小学校 教諭 (平21.4)	5日
13	実み	教授	オグチ ニウイチ 小口 祐一 <平成28年4月>	博士 (教育学)	授業研究の方法と実践 教材研究と授業設計Ⅱ 教育方法開発課題研究Ⅰ 教育方法開発課題研究Ⅱ	1前 1後 1前 1後	2 2 1 1	1 1 1 1	茨城大学 教育学部 教授 (平22.4)	5日
14	実み	准教授	スズキ カズフミ 鈴木 一史 <平成28年4月>	修士 (教育学)	人間形成の現代的課題と学習指導 教材研究と授業設計Ⅰ 教育方法開発課題研究Ⅰ 教育方法開発課題研究Ⅱ	1前 1前 1前 1後	2 2 1 1	1 1 1 1	茨城大学 教育学部 准教授 (平24.4)	5日
15	兼担	教授	ムラノイ ヒトシ 村野井 均 <平成28年4月>	教育学 修士※	子どもの発達と学習の過程 学習指導・授業づくりの課題と実践 課題発見実習 学校運営開発実習Ⅰ 学校運営開発実習Ⅱ 教育方法開発実習Ⅰ 教育方法開発実習Ⅱ 児童生徒支援実習 学校適応アセスメント実習 学校適応支援実習	1前 1後 1前 1後 2通 1後 2通 1後 2前 2後	2 2 2 3 5 3 5 3 3 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城大学 教育学部 教授 (平17.10)	
16	兼担	教授	モチツキ アツシ 望月 厚志 <平成28年4月>	文学 修士※	学校と保護者・地域の関係づくり 地域教育経営と「開かれた学校づくり」演習 課題発見実習 学校運営開発実習Ⅰ 学校運営開発実習Ⅱ 教育方法開発実習Ⅰ 教育方法開発実習Ⅱ 児童生徒支援実習 学校適応アセスメント実習 学校適応支援実習	1前 1後 1前 1後 2通 1後 2通 1後 2前 2後	2 2 2 3 5 3 5 3 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城大学 教育学部 教授 (平17.4)	

17	兼担	教授	オガワ テツヤ 小川 哲哉 <平成28年4月>	博士 (教育学)		教師のライフステージと資 質向上 校内研修の企画・立案と実 践 課題発見実習 学校運営開発実習Ⅰ 学校運営開発実習Ⅱ 教育方法開発実習Ⅰ 教育方法開発実習Ⅱ 児童生徒支援実習 学校適応アセスメント実習 学校適応支援実習	1前 1後 1前 1後 2通 1後 2通 1後 2前 2後	2 2 2 3 5 3 5 3 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城大学 教育 学部 教授 (平22.4)	
18	兼担	教授	サトウ タマキ 佐藤 環 <平成28年4月>	修士 (教育学) ※		教育課程編成の計画と実践 教材研究と授業設計Ⅰ 課題発見実習 学校運営開発実習Ⅰ 学校運営開発実習Ⅱ 教育方法開発実習Ⅰ 教育方法開発実習Ⅱ 児童生徒支援実習 学校適応アセスメント実習 学校適応支援実習	1前 1前 1前 1後 2通 1後 2通 1後 2前 2後	2 2 2 3 5 3 5 3 3 2	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	茨城大学 教育 学部 教授 (平24.4)	
19	兼担	准教授	コバヤシ ユウキ 小林 祐紀 <平成28年4月>	修士 (教育学)		学習指導・授業づくりの課 題と実践 教育評価の方法 教育カウンセリング実践と 事例研究	1後 1前 1後	2 2 2	1 1 1	石川県金沢市立 安原小学校 教 諭 (平26.4)	
20	兼担	准教授	アライ ヒデアス 新井 英靖 <平成28年4月>	博士 (教育学)		特別支援教育の理論と実践	1前	2	1	茨城大学 教育 学部 准教授 (平12.10)	
21	兼担	准教授	ゴトウ コウイチ 五島 浩一 <平成28年4月>	教育学 士		校内研修の企画・立案と実 践 学校を基盤としたカリキュ ラム開発と実践	1後 1前	2 2	1 1	茨城大学 教育 学部 准教授 (平25.4)	

(注)

- 1 教員の数に応じ、適宜枠を増やして記入すること。
- 2 私立の大学若しくは高等専門学校に収容定員に係る学則の変更の認可を受けようとする場合若しくは届出を行おうとする場合又は大学等の設置者の変更の認可を受けようとする場合は、この書類を作成する必要はない。
- 3 「申請に係る学部等に従事する週当たりの平均日数」の欄は、専任教員のみ記載すること。

専任教員の年齢構成・学位保有状況										
職 位	学 位	29 歳 以 下	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 歳 以 上	合 計	備 考
教 授	博 士	人	人	人	2人	人	人	人	2人	
	修 士	人	人	人	2人	1人	人	人	3人	
	学 士	人	人	人	人	1人	人	人	1人	
	短 期 大 士 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
准 教 授	博 士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	修 士	人	1人	4人	1人	人	人	人	6人	
	学 士	人	人	1人	人	人	人	人	1人	
	短 期 大 士 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
講 師	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 士 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
助 教	博 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	修 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	短 期 大 士 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	
合 計	博 士	人	人	1人	2人	人	人	人	3人	
	修 士	人	1人	4人	3人	1人	人	人	9人	
	学 士	人	人	1人	人	1人	人	人	2人	
	短 期 大 士 学 士	人	人	人	人	人	人	人	人	
	そ の 他	人	人	人	人	人	人	人	人	

（注）

- 1 この書類は、申請又は届出に係る学部等ごとに作成すること。
- 2 この書類は、専任教員についてのみ、作成すること。
- 3 この書類は、申請又は届出に係る学部等の開設後、当該学部等の修業年限に相当する期間が満了する年度（以下「完成年度」という。）における状況を記載すること。
- 4 専門職大学院の課程を修了した者に対し授与された学位については、「その他」の欄にその数を記載し、「備考」の欄に、具体的な学位名称を付記すること。